

## 家政学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

### 【修士課程】

(研究指導方針等)

家政学の広い視点から基礎を学び、さらに学生の専門領域に合わせて深く研究し、修士論文を作成する。主査を中心に学内の3名の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得すると共に学術情報発信の実験を経験するため、学会への参加が奨励される。

年次	内容	研究指導概要
1年次		
4月	オリエンテーション・履修ガイダンス・修士論文中間発表会(聴講)への参加	指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導を行う。オリエンテーションの一環として2年生が行う修士論文中間発表会に参加し、研究や論文作成方法を習得する。
5月	研究テーマの提出	指導教員による修士論文作成指導・研究指導
6月	面接指導 個人研究の推進	
8月	面接指導	
9月	研究計画書の提出 個人研究の推進	
1月	面接指導	
学会への参加を奨励		
2年次		
4月	修士論文中間発表会で報告	中間発表会で問題点等を指摘及び指導する。
6月	面接指導	中間発表会で問題点等を踏まえた研究指導
7月	草稿の提出	
8月	面接指導	
9月	草稿の再提出	
10月	面接指導	
11月	修士論文提出の許可判定	修士論文審査委員会の設置 修士論文審査の実施 最終試験(口述試験)の実施 修士論文可否の決定
1月	修士論文提出	
2月	審査・口頭試問実施 修士論文発表会	
3月	研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与	

※上記は2年制コースの場合であり、3年制コースは2年次を2年間かけて指導する。状況により内容及び時期等を変更する場合がある。